

エリアマネジメントが
防災減災のためにできること

HITOTOWA Inc.

荒 昌史

自己紹介

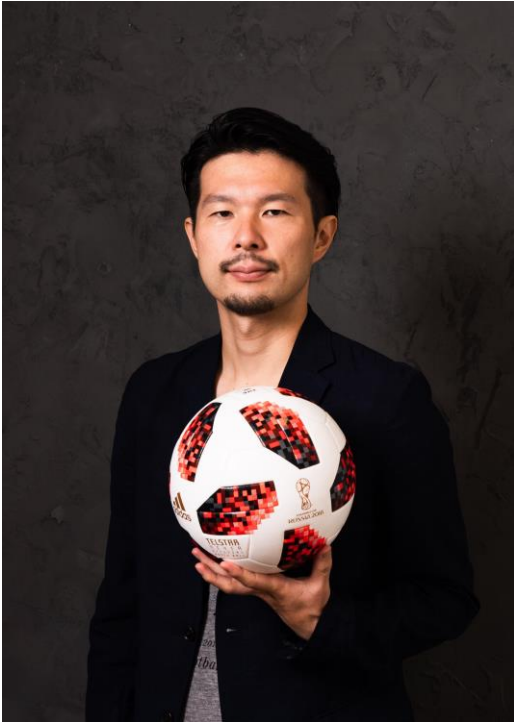
父方の祖父母が福島出身
幼少時を熊本で過ごす

2004年 大学卒業後に住宅デベロッパー入社
2007年 新規事業として
マンションコミュニティづくりをスタート

2010年 30歳になるタイミングで独立起業
東京都住宅政策審議会委員
東京都マンション管理適正化検討会委員
Jリーグ社会連携検討部会検討委員

インクルーシブフットサルチーム
バルドラール浦安デフィオにてプレー

自然共生型のコーポラティブハウスに住む
将来の夢は地域課題解決型のスポーツクラブの経営者



荒 昌史
Ara Masafumi

HITOTOWA Inc.

30歳のときに起業。
その3ヶ月後に東日本大震災が発生しました。



使命

人と和のために働き、
都市の社会環境問題を解決する。

ともに助け合える街をつくる。

HITOTOWA INC.

住宅会社や行政から受託し、大規模マンションや地域のコミュニティづくり
防災減災、子育ての支援、お年寄りの生きがいのため
コミュニティスペースやイベントの企画運営、住民組織の立ち上げと伴走支援



代表的なプロジェクトとして、およそ1万人規模の団地再生プロジェクト

「まちにわひばりが丘」・「まちなね浜甲子園」。

およそ1,000世帯のタワーマンション「西新宿CLASS in the forest.」や「フロール新川崎」などがあります。



サッカー・フットサルを通じた防災減災と震災復興プロジェクト
「social football COLO」を行っています。
サッカー防災ワークショップ「ディフェンス・アクション」を展開しています。



エリアマネジメントとは

HITOTOWA INC.

【定義】

地域における 良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による
主体的な取り組み※

※出典：国土交通省 エリアマネジメント推進マニュアルweb版より

ネイバーフッドデザインメソッド

-マンションコミュニティからエリアマネジメントまで-

ゴール設定/goal

どのような地域・地縁コミュニティを目指すのか

場所
/space

共用部・周辺施設
(共用備品)

機会
/opportunity

イベント、サークル
メディア、日常的な接点

主体性
/ownership

多様な参加方法
コミュニティ担当理事

見識
/literacy

社会課題やコミュニティ
楽しみながら学ぶ

仕組み/system

コミュニティ形成費用、初期投資、資金管理・運用、
理事会サポート、規約、重要事項説明書、情報コミュニケーションなど

ネイバーフッドデザインが大切な理由

にぎわいづくり
公共空間の利活用

街の
活性化

街の
保全

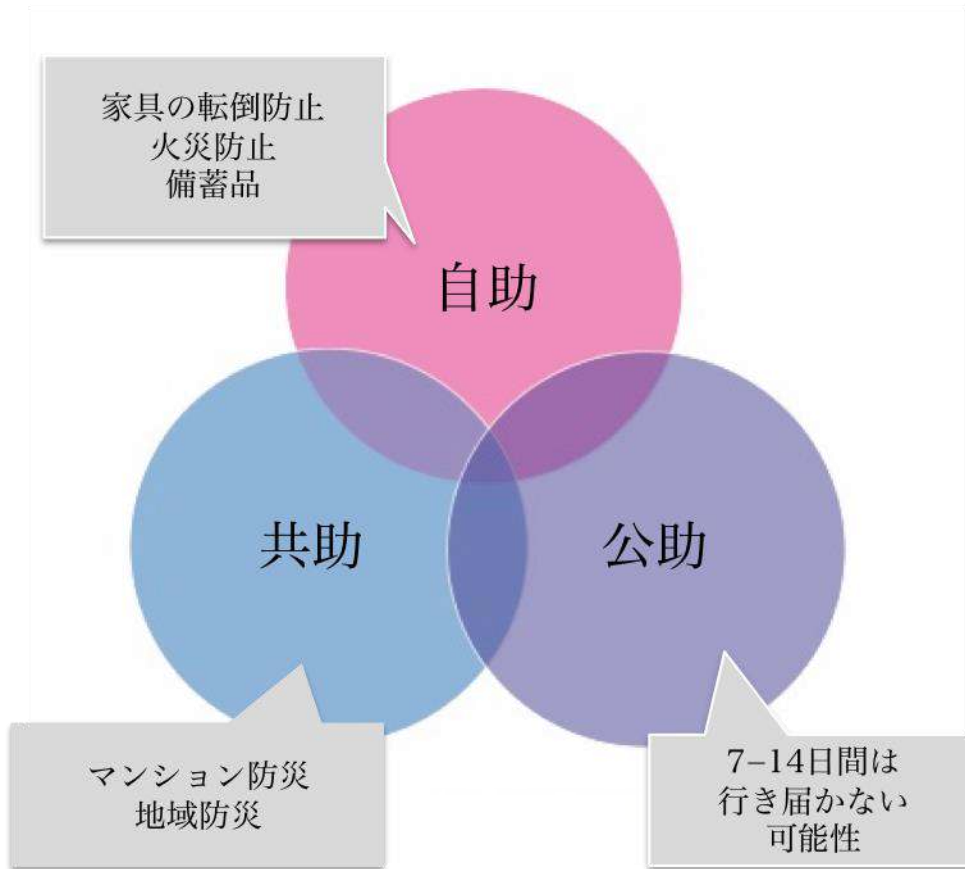
趣味
の充実

地域の
課題解決

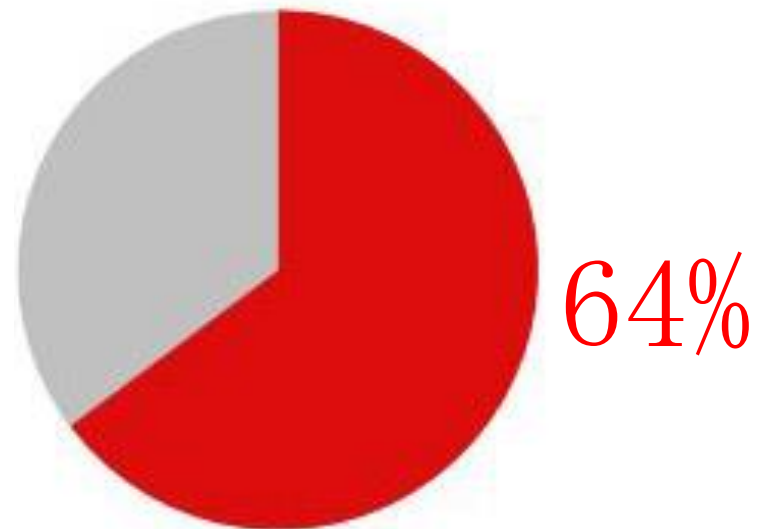
防災減災
防犯
子育て
お年寄りの見守り
シェア

災害時に助け合えるように

HITOTOWA INC.



阪神淡路大震災時に
ある街では人名救助をした人の
半分以上は「近所の方」でした。



出典：総合都市研究第61号
神戸市東灘区における人的被害と救助活動

まちにわ ひばりが丘 の防災減災



MACHINI=WA

HIBARIGAOKA

一般社団法人まちにわ ひばりが丘 対象エリア

従前のひばりが丘団地地域
をエリアマネジメントの
対象エリアと設定

新規分譲の
マンションと戸建
UR賃貸合わせて
3000戸弱ほど



まちにわ ひばりが丘 組織概要

一般社団法人まちにわ ひばりが丘

総 会（最高意思決定機関）

正会員：新規分譲のマンション管理組合・

戸建管理組合法人 及び 街区開発事業者

（ひばりが丘フィールズ1番街・2番街・けやき通り・シティテラスひばりが丘・プレミストひばりが丘・セキュレアガーデンひばりが丘他・大和ハウス工業 コスモスイニシア 住友不動産※

個人会員

各マンション及び戸建住民
（正会員としての組合の構成員
として月額300円を出資）

監査

監事：UR都市機構の職員※

理事会（計画立案及び執行）

理事：街区開発事業者の社員※

（大和ハウス工業・住友不動産・コスモスイニシア・オリックス不動産）

事務局（実務）

住民・街区事業者の社員・
HITOTOWA INC.

近隣の団体

ひばりが丘団地自治会ほか近隣の自治会、関係団体

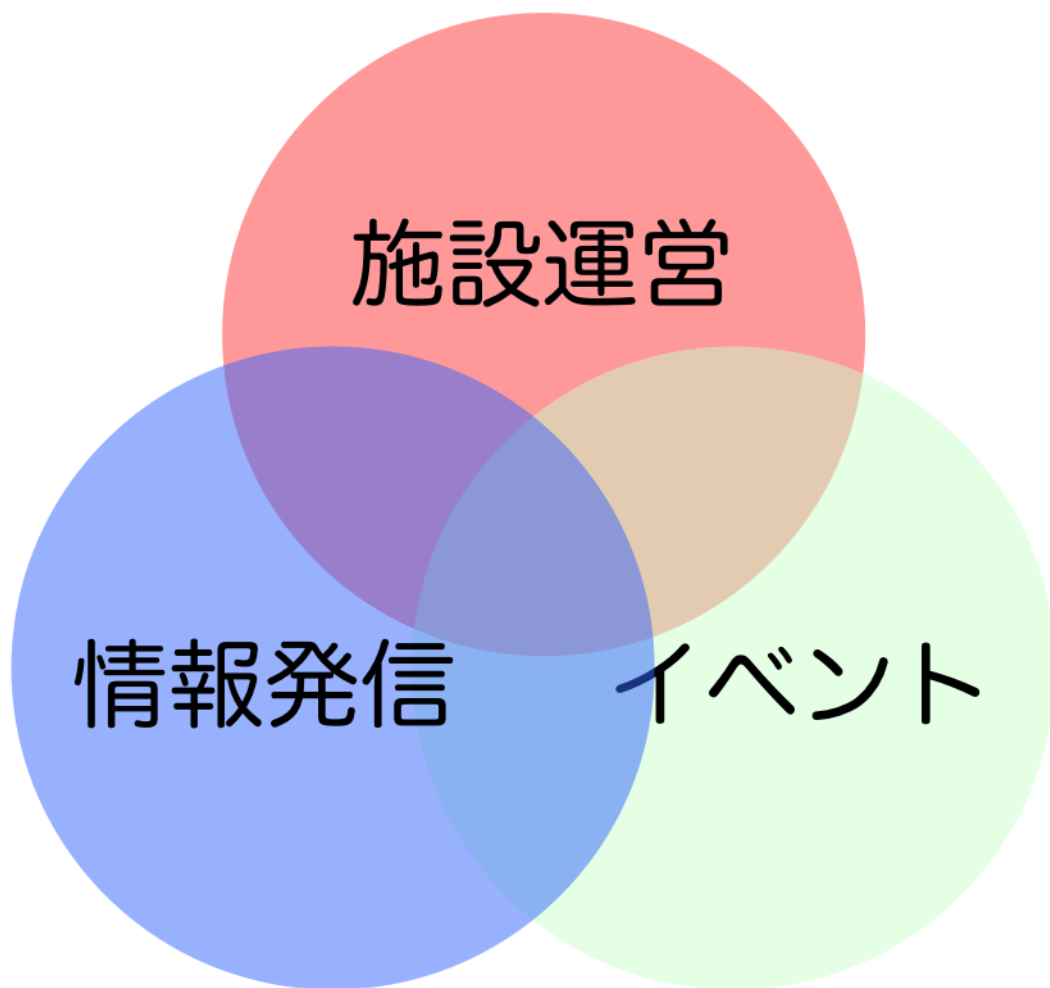


連携

※2020年度からは事業者は正会員から抜け、理事・監事を住民のみなさんへ移行予定



まちにわ ひばりが丘 3つのアクション



HIBARI TERRACE 118



A'ERU



MACHINI=WA
HIBARIGAOKA

担い手の発掘・育成のために行うべきこと

参加者募集
12月開講！

ボランティアチーム まちにわ師 養成講座

ひばりが丘の街で活動するボランティアの養成講座です。
日々の暮らしをより魅力的なものにするために、
いっしょにひばりが丘の街に和を描きませんか？



MACHINI=WA
HIBARIGAOKA



参加方法は「住人十色」

- ❖ 活動の趣旨を理解して、応援をしている
- ❖ 情報に目を通し、リアクションする
- ❖ イベントやキャンペーンに参加
- ❖ イベントや広報のお手伝い
- ❖ ボランティアスタッフ
- ❖ 企画・主催する
- ❖ リーダー
(仕掛け人)

コミュニティ担当理事

- エリアマネジメントの窓口として、管理組合・団地管理組合の中に「コミュニティ担当理事」を設置。
- マンション・戸建エリア内でのイベント企画のほか、まちにわ ひばりが丘と連携したイベント企画、地域のお祭りの参加などを協働して実施。



正会員としてまちづくりに関わる

- 街区ごと（管理組合）に「正会員」として加入し、まちづくりの参画。総会での議決権も付与。
- まちにわ ひばりが丘の総会へも出席。
決算承認、理事監事の選任承認なども行う。



防災ワークショップの推進

- HITOTOWAの「オリジナル防災減災ワークショップ」を地域住民向け、マンション理事向けに継続的に実施
- 防災減災に対して、地域及びマンションにて取り組むべきという気運が高まる



るるるバザール

マルシェ de そなえ

仲間が増える

もしもに備え

TEAMひばりが丘
るるるバザール

ディフェンスアクション

イザ!カエルキャラバン!
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

おもちゃを寄付したり、体験プログラムに参加したり、買い物をするともらえるポイントで、おもちゃや備蓄品・地域物産などと交換することができる市場(バザール)です。

日時 5月13日(日) 13:00~16:00

会場 たんぽぽ広場 (東京都西東京市ひばりが丘3-1)
雨天時 ひばりテラス 118 (東京都西東京市ひばりが丘3-4-17)

るるるバザールのおもひかた

- 1 おもちゃやアクセサリーを
もってこよう!
- 2 かえっこバンクに
もっていくと
カエルポイントに
かえってもらえるよ!
- 3 そのポイントで
好きなおもちゃと
かえっこできるよ!
- 4 いろいろなプログラムを
たいはんしたり、
お買い物をする
ポイントがもらえるよ
- 5 ポイントをためて
かえっこアクションに
さんかすることも
できるよ!

主催:一般社団法人まちにむきひばりが丘 共催:ひばりが丘団地自治会 協賛:TEAMひばりが丘(後援有志メンバー)
協賛:大和ハウス工業株式会社 協力:NPO法人プラス・アーツ 大和ライフネクスト株式会社・socialfootball COLO 後援:西東京市

- 住民の声が発案となり、防災フェスを実施
- イザ!カエルキャラバンとサッカー防災、地産地消マルシェのイベント
- 悪天候ながら600名が参加



最近の動きと今後の展望

- 2棟のマンションで防災委員会が立ち上がる
- 活発に活動、月1回程度の会議や防災訓練を実施
- 火災時のシミュレーション、消防訓練、発電機買って炊き出し、安否確認等
- マニュアルを継続を作成中
- HPやコミュニケーションツールを開設-ITを活用
- 今年3月に委員会が立ち上がっていないマンションと意見交換を行う
- それぞれの自主防災組織の登録方法や活動内容について情報交換
- るるるバザールを再度行いたい意向

◎風水害について

- ・ゲリラ豪雨対策にて内水氾濫を警戒、設備的な確認を事前に行っていた
- ・結果的にはこれまで目立った被害なし



エリマネ組織が「きっかけ」をつくり、
情報や人をつなぎ、後方支援を行なっている

まちなね浜甲子園における防災減災の取組み



一般社団法人まちのね浜甲子園の対象エリア

凡例

-  UR賃貸
-  整備敷地(住居以外)
-  整備敷地(住居)
-  継続管理
-  公園

V 期

IV 期

I 期

浜甲子園
さくら街

浜甲子園
さくら街

学校グラウンド

OSAMPO BASE

UR賃貸
(計画中)

プールパール(公園)

計画中

分譲マンション
(計画中)

戸建(計画中)

UR賃貸
(計画中)

継続管理

商業施設

プールパール(公園)

分譲マンション
(2019.9入居)

★
ファイン
シティ
甲子園

浜甲子園なぎさ街

浜甲子園
なぎさ街

明日区

明日区

特別養護老人
ホーム

III 期

HAMACO:LIVING

II 期

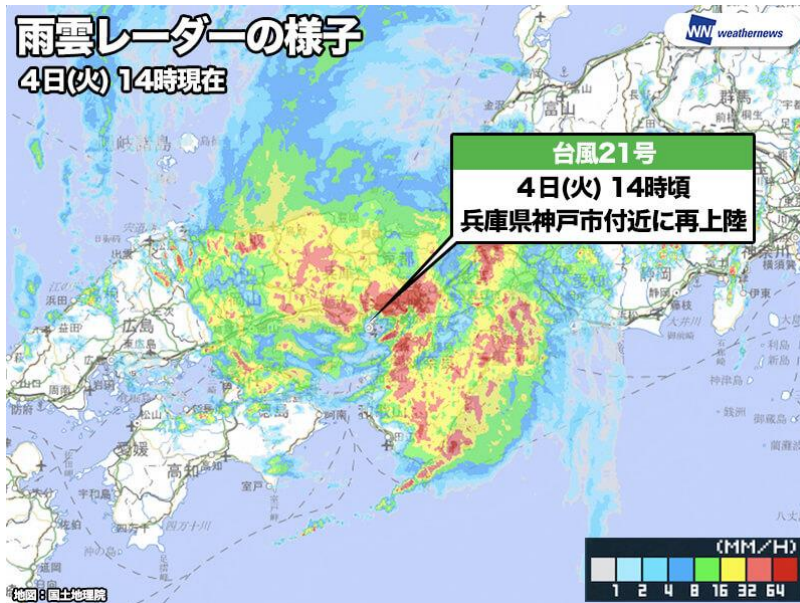
一般社団法人まちなね浜甲子園の組織概要



※街区事業者の活動は開発終了（2022年度末）までの期間となります。



2018年9月4日に直撃した台風21号



2018年9月4日に直撃した台風21号

被害状況

- 各所で木が折れる、フェンスが倒れる
ガラスが割れる
- 犠牲者・負傷者はなし
- 電気が約12時間ストップ（当日22:00頃まで）
- 水道が新築マンションでは
約35時間ストップ（翌日21:00頃まで）

- エリマネ施設は定休日
- 多くの不安の声
- HAMACO:LIVINGで繋がった約40名の
ママのLINEグループが情報交換に役だった
（エリマネスタッフも加入）
- 一部親しいご近所さん同士の助け合い

台風21号に関する防災アンケート

■実施概要

- ・主体：一般社団法人まちのね浜甲子園
- ・対象：ファインシティ甲子園・明日区に
9月1日時点で入居している全140世帯

■実施目的

- ・新街区住民の災害対応のふりかえりの機会づくり
- ・住民の声を集約することによる防災ノウハウの共有、各自の備えの促進
- ・共助（近所で助け合う）の仕組みづくりのきっかけに→各管理組合への情報引継ぎ。

■アンケート実施スケジュール

- ・台風21号被害発生：9月4日
- ・アンケート投函：9月13日→回答期限：9月30日

■アンケート投函数・回答数

- ・40世帯／140世帯（回答率28.5%）
- ・内訳 明日区：6世帯／23世帯中、26.0%
ファインシティ甲子園：
34世帯／117世帯、29.0%

■本アンケートについて

- ・まちのねボウサイ会議でフィードバック
- ・資料を配布した全戸に投函
- ・管理組合等、検討主体への情報の引継ぎ

台風21号に関する防災アンケート(ファインシティ甲子園・明日区対象)

今回の台風21号による被災経験について、皆さまの声を今後の取組みに活かすために、アンケートのご協力をお願いいたします。尚、本アンケートの集計結果を開示することがございますが、氏名が公表されることはありません。

(参考キーワード：停電、断水、食料、スマホ、電池、備蓄品、情報、トイレ、子育て、ご近所、庭・ベランダ、その他)

1. 停電・断水となって以降、ライフラインが回復するまでの期間をどのように過ごしていましたか？

2. やって良かった対策、あつて良かったこと・ものなどがあればお書きください。

3. 今回、特に困ったことをお書きください。

4. 今後に向けて取り組んでおきたい防災対策があればお書きください。

5. 住民間で災害時の対応を行う防災組織が必要だと感じましたか？

☐はい ☐いいえ ☐わからない

6. その他ご意見、共有しておきたい気づきなど、ご自由にお書きください。

ファインシティ甲子園[]号室or明日区[]街区、お名前[]

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
HAMACO:LIVINGポストに投函ください。＜9月30日（日）提出期限＞
一般社団法人まちのね浜甲子園

1. 停電・断水となって以降、ライフラインが回復するまでの期間をどのように過ごしていましたか？

■過ごしていた場所

- ・自宅（周辺含む）で過ごしていた世帯：72.5%（29世帯）
- ・実家等に避難して過ごした世帯：27.5%（11世帯）

■自宅（周辺含む）での過ごし方

- ・自宅で片づけをして過ごした。
- ・明るいうちに全ての事を済ませて、暗くなると同時にこども達を寝かせた
- ・暑くて寝苦しかった
- ・雨風が少し治まってからは廊下を歩いたりして涼んでいた
- ・マンションの友達の家で協力し合って過ごした
- ・こどもたちも退屈したので、マンション友の家で過ごした。
- ・主人が不在で、1歳の子供と二人でとても不安でした
- ・小さい子供が、暑くて不安そうだった。
- ・いつ回復するのかがわからない不安がずっとあった
- ・子どもたちが不安にならないよう折り紙やトランプ
- ・テレビが見れないので時間が経過するのが遅い。
- ・子どもたちは真っ暗の中、少しずつ言葉数が減っていく中、手伝ってくれたり、はげまし合いながら当日は過ごした。
- ・暑いので外に出て、ご近所の方と話をして過ごした。
- ・イトーヨーカドーで夜9時くらいまで過ごした
- ・夜の停電・断水時にはららぽーと甲子園にいた。
- ・暑くて自宅内に居れないときは、外を散歩した。
- ・最終的になにもすることがなくなり就寝
- ・備えがあったので、キャンプしている感覚で過ごした

■灯かりの取り方

- ・ランタンを沢山もって良かった。
- ・ろうそく、懐中電灯を使って照明の確保
- ・電気は懐中電灯。ロウソク生活。

■飲み水・食糧の確保

- ・飲み水是備蓄していた
- ・ガスボンベでたこ焼きをした
- ・冷凍にしていたパンをグリルで焼いて食べた
- ・冷蔵庫、冷凍庫内の食べられるものから消費した
- ・ペットボトルの水をガスで沸かすカップ麺を食べた
- ・ガスが使えたので、簡単に作れるもので夕飯を作った
- ・関西スーパーが開いていたので助かった。
- ・イトーヨーカドーで水・食糧を調達した
- ・原付で少し遠くのスーパーに行き、お茶や食料を買った
- ・三宮で食糧、ミネラルウォーターを購入した
- ・実家から、水、食料等を持ってきてもらった。

■生活用水

- ・お風呂のため水を節約しながら使った
- ・食器を洗えないのが困った
- ・マンション1階の散水栓から水を汲み、洗い物などをした
- ・マンションの散水栓に何度も水を汲みに行った
- ・お風呂にためていた水でトイレを流した
- ・トイレを数回に1回だけ流すようにした
- ・トイレをミネラルウォーターで流した
- ・トイレはブルバールの公衆便所を使った
- ・明日区は断水しなかったのが助かった
- ・お風呂に入り温泉に行った

■情報収集

- ・ラジオを聞いて情報収集
- ・スマホで情報集めたが、充電がなくなった。
- ・車でスマホを充電していた。
- ・手回しラジオを少し聞いた程度で情報収集ができず
- ・LINEグループでの情報に助られた
- ・小学校の登校LINEで水が出る場所の情報を教えてもらった

1. 停電・断水となって以降、ライフラインが回復するまでの期間をどのように過ごしていましたか？

■過ごしていた場所

- ・自宅（周辺含む）
- ・実家等に避難

自宅
70%

実家など
30%

■自宅（周辺含む）での過ごし方

- ・自宅で片づけをして過ごした。
- ・明るくして電気を消して寝て、暗くなると同時にこどもも寝てしまった。
- ・暑くても我慢して過ごした。
- ・雨風が少し治まってからは廊下を歩いていた。
- ・マンションの友達の家で協力し合って過ごした。
- ・こどもたちが寝たので、静かに過ごした。

不安

暑さ

時間
つぶし

外へ

マンショ
ン友達と

キャンプ
感覚

片付け

- ・小さい子供が、暑くても我慢して過ごした。
- ・いつ回復するのかわからないでずっとあった。
- ・子どもたちが寝たので、静かに過ごした。
- ・テレビが見れないので時間が経過するのが遅い。
- ・子どもたちが寝たので、静かに過ごした。
- ・暑いので外に出て、ご近所と散歩した。
- ・イトーヨーカドーで夜9時から買い物をした。
- ・夜の停電・断水時にはららぽーと甲子園にいた。
- ・暑くて自宅内に居れないときは、外を散歩した。
- ・最終的になにもしることがなくなり就寝。
- ・備えがあったので、キャンプしている感覚で過ごした。

■灯かりの取り方

- ・ランタンを沢山もって良かった。
- ・ろうそく、懐中電灯を使って照明の確保。
- ・電気は懐中電灯。ロウソク生活。

■飲み水・食糧の確保

- ・飲み水は、自宅にあるもので過ごした。
- ・冷蔵庫、冷凍庫内の食べ物を食べて過ごした。
- ・ペットボトルの水をガスで煮沸して使った。
- ・ガスが使えないので、お茶を淹れて作った。
- ・関西スナックで水を調達した。
- ・原付で少し遠くのスーパーに行き、お茶や食料を買った。
- ・三宮で食糧、ミネラルウォーターを購入した。
- ・実家から、水、食料等を持ってきてもらった。

あるもので

備蓄品

調達

■生活用水

- ・お風呂の水を貯めて使った。
- ・食器洗いは、お風呂の水で洗った。
- ・マンションの散水栓に何度も水を汲み取った。
- ・お風呂にためてお風呂で使った。
- ・トイレを数回お風呂で使った。
- ・トイレはブルバール公衆便所を使った。
- ・明日区は断水しなかったのが助かった。
- ・お風呂に入り温泉に行った。

トイレ

水汲み

節水工夫

■情報収集

- ・ラジオで情報収集。
- ・スマホ・LINEで充電。
- ・手回しラジオを少し聞いた。
- ・LINEグループでの情報収集。
- ・小学校の登校LINEで水が回復したと教えてもらった。

スマホ・
LINE

ラジオ

充電

3. 今回、特に困ったことをお書きください。

■断水

- ・水が出ない。手が洗えない。歯が磨けない。
- ・食器が洗えない。洗濯ができない。
- ・溜め水をしていなかった
- ・1階外の水が出ず、エレベーターが使えなかったら無理
- ・断水の復旧状況が読めなかった点
- ・停電が復旧してもポンプの故障で水が出ない
- ・お風呂は、水と電気が両方普及しないと使えない。

■トイレ（合計15名の方が困ったことに挙げた）

- ・断水時の正しい対処法がわからず、タンクに水を入れて使用したが、もっと効率的な方法はないかと思った。
- ・夜間公園のトイレを女性一人で使うのは怖い。使い捨てのトイレ用品を備蓄しておきたいと思った。

■停電、暑さ

- ・夜は明かりがない。冷蔵品が腐る。給湯器も使用できない
- ・阪神大震災より停電の復旧に時間がかかった
- ・停電が長期化すると困る。街で蓄電システムを作れないか
- ・車でスマホの充電をしたかったができなかった。
- ・手回しで携帯充電機では、中々充電がたまらない。
- ・暴風や大雨がひどい時、窓が開けられず、暑くて大変
- ・暑さ対策。扇風機もクーラーも使えない。

■情報収集

- ・スマホの充電が切れ唯一の情報を得る手段もなく困った。
- ・緊急時の管理センターの電話も全くつながらずライフライン復旧の情報がなくて不安
- ・管理事務所が不在で、マンションの状況把握ができない。
- ・住民の方が色々と問い合わせたが、問合せをする担当の方を決めておくことも大切
- ・ラジオは聞いていたが全体的なニュースより家付近の情報がほしい

■子育て

- ・赤ちゃんの哺乳瓶や食器を洗うのが大変だった
- ・生後四か月の赤ちゃんがいた為、哺乳瓶の洗浄に困った
- ・赤ちゃんのお風呂に困った“
- ・赤ちゃんを抱っこしながらの水汲みは大変”
- ・子どもたちが初めての経験で真っ暗な中不安でなかなか私から離れず身動きがとれなかった

■設備

- ・停電で 駐車場が機械式で車が出せなかった。「車が出せないで避難できない」という声も何人かから聞いた
- ・停電が復旧しても、しばらくエレベーターや駐車場を動かせなかった事。
- ・災害時用の住民専用の電話番号(長谷工でも)があるといい。夜にエントランスが開きっぱなしで停電でセキュリティが不安だった。逃亡している人がいたから。

■その他

- ・家にはミネラルウォーター数本、カップラーメン3食分しか備蓄がなかった。
- ・翌日も停電してる所があり、信号がつかない所は横断するのが危険だった(ららぽーと前の枝川の橋の交差点)
- ・近所の店舗も停電で営業中止となって水を買うことすら一時的にできませんでした。
- ・二階も雨戸をつけておけばよかった。雨戸がないところは網戸が左右に動いていた（明日区）
- ・ほかの住戸のゴミがベランダに入ってきて困った
- ・ベランダが壊れた。壊れたベランダの破片がクーラーの排水ホースをきった。
- ・甲子園浜海浜公園で潮位が3.7Mもあった。浜甲子園団地通りは水があふれ、明日区の道路にも水が浸入してた。
- ・枝川の水位もあとわずかであふれるほどだった
- ・バス通りが浸水。ガレキ集め。（明日区）

3. 今回、特に困ったことをお書きください。

■断水

- ・水が出ない。手が洗えない。歯が磨けない
- ・食器が洗えない。洗濯ができない
- ・溜め水をしていなかった
- ・1階外の水が出ず、エレベーターが使えなかったら無理
- ・断水の復旧状況が分からない
- ・停電が復旧しても水が来ない
- ・お風呂は、水と電気が両方使えないと使えない。

断水

復旧までの
仕組み

■トイレ（合計15名の方が困ったことに挙げた）

- ・断水時の正しい対処法がわからず、タンクに水を入れて使用したが、もっと効率的な方法があった
- ・夜間公園のトイレを女性一人が使用し、トイレ用品を備蓄しておきたいと思った。

トイレ

■停電、暑さ

- ・夜は明かりがない。冷蔵品が腐る。給湯器も使用できない
- ・阪神大震災より停電の復旧に時間がかかった
- ・停電が長期化すると困る。街で蓄電システムを作れないか
- ・車でスマホ充電ができなかった。
- ・手回し充電機が充電がたまらない。
- ・暴風や大雨で窓が壊れ、暑くて大変
- ・暑さ対策。扇風機もクーラーも使えない。

暑さ

■情報収集

- ・スマホの充電が切れ唯一の情報を得られなかった
- ・緊急時の対応が分からなかった
- ・停電の復旧状況が分からない
- ・管理事務所からの状況把握ができない。
- ・住民の方が色々お問い合わせがあり、担当者を決めておく必要がある
- ・ラジオは聞いていたが全体情報がほしい

近くの
情報

情報が
ない不安

スマホ
充電

■子育て

- ・赤ちゃんの哺乳瓶や食器を洗うのが大変
- ・生後四か月の赤ちゃんがいた為、お風呂が入れなかった
- ・赤ちゃんが泣き止まず、お風呂の水汲みは大変
- ・子どもが泣き止まず、経験で真っ暗な中不安でなかなか私から離れず身動きがとれなかった

動き
づらさ

子育て
グッズ

■設備

- ・停電で 駐車場が機械式で車が出せなかった。「車が出せないで避難できない」という声も何人かから聞いた
- ・停電が復旧しても、エレベーターや駐車場を動かせなかった
- ・災害時用の住民専用トイレ（各工でも）があるといい。夜にエントランスが開きっぱなしで停電でセキュリティが不安だった。逃亡している人がいたから。

車、動か
せない

■その他

- ・家にはミネラルウォーター数本、カップラーメン3食分しか備蓄がなかった。
- ・翌日も停電してる所があり、信号がつかない所は横断するのが危険だった(ららぽーと前の枝川の橋の交差点)
- ・近所の店舗も停電で営業中止となって水を買うことすら一時的にできませんでした。
- ・二階も雨戸をつけておけばよかった。雨戸がないところは網戸が左右に動いていた（明日区）
- ・ほかの住戸のゴミがベランダに入ってきて困った
- ・ベランダが壊れた。壊れたベランダの破片がクーラーの排水ホースをきった。
- ・甲子園浜海浜公園で潮位が3.7Mもあった。浜甲子園団地通りには水があふれ、明日区の道路にも水が浸入してた。
- ・枝川の水位もあとわずかであふれるほどだった
- ・バス通りが浸水。ガレキ集め。（明日区）

6. その他ご意見、共有しておきたい気づきなど、ご自由にお書きください。

■情報共有

- ・ブルバールのトイレが使えることやマンション1階の入口の水栓が使えることをたまたま会ったマンションの人に教えてもらった。
- ・各世帯で得た情報を、管理人室前等、住戸の方々が目にしやすい所に**張り紙で伝えるものがあると便利**だと思う
- ・マンション1階ロビーに**ホワイトボードを用意してそこに情報を得た人が書いていく**などしてはどうか。
- ・**ご年配の方が「テレビついてる?」「水は出てないよね?」と訪ねて来た。そんな方達とも繋がれると良い。**
- ・情報を掲示板などに1日1~2回くらい発表してもらいたい
- ・停電の復旧等の情報はできるだけはやくほしい

■既存の有志LINEグループについて

- ・LINEの情報交換がとても役立った。自分では分からない情報も教えてもらえた。小さい子がいて色々不安だったけど、**皆で支えあって助け合いが出来て安心した。**
- ・グループLINEで外の様子、家の様子を共有してくださる方が居て情報にもなるし、**皆が居るという安心感がすごくあったので、助けられた。**
- ・行動力のある方が業者に連絡してくれたりありがたかった
- ・必要でない情報もあり、途中でグループから抜ける方もいた。**グループ外の方に情報が共有されていない**

■組織、集いの場所

- ・**管理人不在時に代理で何かできる組織が必要。管理人が来れない時の対策を考えたい。**
- ・停電時エントランスが消灯、**自動ドアが開きっぱなしなので、夜間が防犯面で心配。**
- ・仕事などで夫が不在時、**不安なのでどこかで住民同士が集まれるようにしたい**

■マンション設備について

- ・何故、災害用ポンプが壊れたのか説明して欲しい。
- ・WILL-UP等 防災品などの情報共有が大事
- ・災害時に飲料水を作る装置があったはず…いつ使っているのかどこにあるのか不明。
- ・**マンション設備が今は管理人不在時は、機能しない**
- ・駐車場が、強風で動いてパレットの上で斜めになっている車があった。それを知らずに停電が回復してから駐車場を操作してる人がいた。もしパレットからズレていたら事故になる。対策を考えた方がいい。
- ・防災マンションという売りだったはずなのにまさかのポンプ室浸水にショックでした。停電しても水は出せるように自家発電的なポンプはないのでしょうか

■明日区設備、浸水不安

- ・明日区内の側溝の穴に枝や葉、ガレキがつまっていて取り除くためにクマ手、シャベル、水が切れる「てみ」、土のうなどを収納してある防災倉庫がほしい。
- ・鳴尾川が氾濫し甲子園浜では高潮が堤防を越えたが、避難情報は全く無く、市の防災対応に不安を感じている。
- ・**停電でインターホンがならず、ノックだけでは気づいてもらず、不在かどうかの確認ができなかった。**
- ・なぜバス通りが浸水したか理由がいまいち分からない。甲子園浜小が避難所として閉鎖。避難は所の情報がない。
- ・停電時の情報収集ができる様にして、発電機や非常用電源の確保があると良いかも(どこか一か所に)
- ・**ファインシティ甲子園が津波避難場所だが、地震で停電となった際にファインシティ甲子園に入れるのか?入り方があるのか?避難経路のレクチャーをお願いしたい。**
- ・台風発生時はマンション、宅地の看板は撤去すべき。風で倒れたり、飛ぶ可能性があるため

6. その他ご意見、共有しておきたい気づきなど、ご自由にお書きください。

■情報共有

- ・ブルバールのトイレが使えることやマンション1階の入口の水栓 **LINEグループ** 大家会ったマンションの人に教えて
- ・各世帯で... 居室前等、住戸の方々が目にしやすい所に **張り紙で伝えるもの** があると思う
- ・マンション1階ロビーにホ... **ここに情報を得た人が書いていく**
- ・ご... **世代を越えて** いる?」「... ではないよね?」
... 方達とも繋がれると良い。
- ・情報... 1~2回くらい発表してもらいたい
- ・停電の復旧等の情報はできるだけはやくほしい

■既存の有志LINEグループについて

- ・LINEの情報交換がとても役立った。自分では分からない情報も教えてもら... **情報の大切さ** 小さい子がいて色々不安だったけど、皆で... 来て安心した。
- ・グループ... 子を共有してくださる方が居て情報... **情報による安心** 音が居るという安心感がすごくあったので、助けられた。
- ・行動力のある方が業者に連絡し... した
- ・必要でない情報もあり、途中でク... 方もいた。 **グループ外の方に情報が共有されていない**

■組織、集いの場所

- ・管理人不在時に... できる組織... **管理人不在時対応** れない時
- ・停電時エ... ドアが開...
で、夜間が防犯面... 。
- ・仕事などで夫が不在時... 民同士が **集いの場** 集まれるようにしたい

■マンション設備について

- ・何故、災害用ポンプが壊れたのか説明して欲しい。
- ・WILL-UP等 防災品などの情報共有が大事
- ・災害時に飲料水を作る装置があったはず...いつ使っているのかどこにあるのか不明。
- ・ **マンション設備が今は管理人不在時は、機能しない**
- ・駐車場が... の上で斜めになっている車が... 回復してから駐車場を操作... ートからズレていたら事故になる。対策を考えた方がいい。
- ・防災マンションという売りだったはずなのにまさかのポンプ室浸水にショックでした。停電しても水は出せるように自家発電的なポンプはないのでしょうか

■明日区設備、浸水不安

- ・明日区内の側溝の穴に枝や葉、ガレキがつまっていて取り除くために... 水が切れる「てみ」、土のう... ほしい。
- ・鳴尾川... 堤防を越えたが、避難情報は全く無く、市の防災対応に不安を感じている。
- ・ **安否確認** 停電でインターホンがならず、... なくても... 確認... してもらえず、不在かどうかの確認... 共同作業
- ・なぜバス通りが浸水したか... 子園... 避難... しない。
- ・停... して、発電機や非常用電源の確... (一か所)
- ・ **避難場所** ファインシティ甲子園が津波避難場所だが、地震で停電となった際にファインシティ甲子園に入れるのか? 入り方があるのか? 避難経路のレクチャーをお願いしたい。
- ・台風発生時はマンション、宅地の看板は撤去すべき。風で倒れたり、飛ぶ可能性があるため

アンケートで頂いた声

事前の備え

- 備蓄品の大切さ（水、食料）
- トイレへの不安

情報の大切さ

- 近所の繋がりからの情報
- 携帯の充電

つながりの大切さ

- 不安解消、時間の使い方
- 情報交換
- 実際の助け合い

マンションと戸建て住民の連携

- 浸水時避難
- みんなで集まる場所



- 停電時の車使用(可動式立体駐車場)
- 太陽光発電の活用
- 停電時の水道使用

まちなねボウサイ会議

- ・ 2018年12月9日に開催
- ・ 被害のあった台風21号とその経験と**住民アンケート結果を共有**。
- ・ **自助ノウハウの共有と、共助の仕組みづくり**（組織化、情報共有）について住民同士で意見交換の機会に。



- **災害時専用LINEグループ**をつくることを決定（災害時のみマンション住民の情報基盤とする）
- **HAMACO:LIVING全面ガラス窓を、災害時伝言掲示板**として、紙で情報を共有する場所にする。不安解消も含め、安心できる場所をつくる。

西宮市主催校区防災訓練

- ・ 甲子園浜小学校で開催された**西宮市主催防災訓練事業**に一般社団法人まちのね浜甲子園として協力
- ・ **サッカー防災「ディフェンス・アクション」**（コロコロボーリング、touch the 避難）を実施。
- ・ 多くの親子、こどもたちに好評であった。



住民主体の防災取り組みサポート

- マンションの防災訓練で、**防災設備クイズラリー**を実施。約80名が参加。
管理組合理事がクイズの出題役となり、マンション内各所で防災クイズを出題。
- **マンション管理組合の理事による共用部防災備蓄品の試用テスト**
防災倉庫の備品確認、防火水槽の水濾過装置使用、マンホールトイレの使用
- **緊急時専用LINEグループ**の立上げ支援
運用ルールづくり。既に登録者は約100名を越えている。
- エリマネ組織と管理組合や団地自治会が**定期的な情報交換**を実施
- 各管理組合、自治会、**周辺福祉施設とのつなぎ役**をエリマネ組織が行う
- 定期的に広報誌にて、エリマネ組織が防災減災に関する**情報発信**



エリマネ組織が「過去を忘れない」よう啓蒙をしつつ、
情報や人をつなぎ、後方支援を行なっている

エリアマネジメントの目的とは？

HITOTOWA INC.

街に愛着のある人が自然発生的に育まれること

消費ではない

生産的・創造的な人とお金の循環が

助け合いを育む

ともに助け合える街をつくること